

本研究大会では要綱配布を電子版のみによって行います。事前に本要綱をダウンロード、もしくはプリントアウトしていただくことを推奨します。

日本文化政策学会 第18回年次研究大会

「縮小社会の地方創生と文化のデモクラシー」

大会開催要綱 (最終版)

2025年3月15日(土)・16日(日)

会場 八戸市美術館
八戸ポータルミュージアム はっち
八戸グランドホテル

主催 日本文化政策学会
共催 八戸市

目次

開催にあたって	1
大会概要	2
本研究大会における情報保障の考え方	3
プログラム・スケジュール	4
3 月 15 日 (土)	5
企画フォーラム①～④	5
昼休み	6
開会式及び表彰式	6
シンポジウム (一般公開)	7
懇親会	7
3 月 16 日 (日)	8
分科会 I	8
企画フォーラム⑤・⑥	10
ポスターセッション	10
理事会	10
総会	10
分科会 II	11
企画フォーラム⑦・⑧	13
発表者へのお願い	14
物販	15
懇親会	16
昼食・貸スペース	16
宿泊・交通・天候	17
アクセス	18
会場・近隣文化施設 展示のご案内	22
エクスカーション・プログラム	24

開催にあたって

日本文化政策学会は、2024 年度の研究大会を青森県八戸市で開催する運びとなりました。

大会プログラム委員会が掲げたテーマは、「縮小社会の地方創生と文化のデモクラシー」です。会場の一つとなる八戸市美術館は、八戸市独自の文化政策の長年の成果の結晶ともいえるユニークな施設です。ぜひこの機会に多くの方々に訪れていただいて、ご自身の眼で市民に開かれたジャイアントルームと、美術館の展覧会のキュレーションのバランスを見ていただければ幸いです。

資源の都市への集中によって地方の縮小が止まらぬ今日、地方自治体における文化の役割、ひいては文化政策の必要性とはどのようなものなのか。本学会だけでも、すでに長年にわたってさまざまな研究が蓄積してきています。今回も、多くの新たな研究成果の発表があると期待されます。

大会のシンポジウムでは、開催地八戸の文化政策の歩みを紹介しつつ、直営の文化施設の運営や、地域に与えるインパクトについてディスカッションを行います。もう一つのシンポジウムでは、昨今、各地に誕生しつつあるアーツカウンシルという制度について考えます。新たな芸術支援の仕組みとして注目を集める一方で、行政本体との距離感はどうなっているのでしょうか。「アームスレングス」と呼ばれる行政からの適切な距離は、はたして実現可能なのでしょうか？それとも単なる行政の道具となってしまう危険性に冒されているのでしょうか？地域活性化は昨今文化に課された重要な政策課題ではありますが、文化芸術がもたらすはずの市民社会の自由の概念は、置き去りにされつつあるのではないか。現場の声と文化政策の専門家たちのディスカッションを通じて考えてまいります。

本学会の大会の特徴でもある企画フォーラムも多彩なテーマで数多く開催されます。文化政策は政府や行政のみが担うものではない、という本学会の哲学が多角的に語られると思いますので、どうか楽しみにしてください。

最後になりましたが、本研究大会の開催のためにご尽力いただいた八戸市と八戸市美術館のみなさまに、プログラム委員会を代表して心よりの御礼を申し上げます。

日本文化政策学会第 18 回年次研究大会プログラム委員長
熊倉純子

大会概要

日 時:2025 年 3 月 15 日(土)・16 日(日)

会 場:八戸市美術館、八戸ポータルミュージアム はっち、八戸グランドホテル
(青森県八戸市中心街。JR 八戸線「本八戸駅」から徒歩約 10 分)

参加費:

	事前申込(3/3 まで)	当日申込
会員(一般・学生とも)	1,000 円	2,000 円
非会員(一般・学生とも)	3,000 円	4,000 円

※ シンポジウム、企画フォーラム、若手ポスターセッションは無料一般公開

※ 介護・通訳等が必要な参加者 1 名(有料)につき、介護者・通訳等 2 名までの大会参加費無料(参加者ご自身の参加申込(有料)の際に、あわせてお申込みください)

懇親会参加費:

	事前申込(3/3 まで)	当日申込
一般(会員・非会員とも)	6,000 円	6,000 円
社会人学生(会員・非会員とも)	4,000 円	6,000 円
その他学生(会員・非会員とも)	2,500 円	3,000 円

事前申込:申込フォーム(<https://peatix.com/event/4257635>)

3 月3日(月)18:00 締切

(当日申込も受け付けますが、準備の都合上、可能な限り事前申込にご協力をお願いします)

主 催:日本文化政策学会

共 催:八戸市

◎参加申込／入会申込に関する問合せ先

日本文化政策学会事務局

〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス 2F

美学出版 LLC 内 日本文化政策学会事務局

TEL:03-5005-0677 FAX:03-6775-3433

E-mail:jacpr_office@jacpr.jp /URL: <http://www.jacpr.jp/>

◎発表／プログラム等に関する問合せ先

日本文化政策学会第 18 回年次大会プログラム委員会事務局 朝倉由希、関鎮京

E-mail: jacpr2024hachinohe@gmail.com

◎開催地・会場やエクスカージョンプログラムに関するお問合せ

八戸市美術館 大澤苑美(日本文化政策学会第 18 回年次大会実行委員長)

E-mail:art@city.hachinohe.aomori.jp

※E-mail でのお問い合わせにご協力をお願いいたします。

※事務局は非常勤につき、問い合わせの返信は数日お時間いただきますが、ご了承ください。

本研究大会における情報保障の考え方

情報アクセシビリティとは「年齢や障害の有無等に関係なく、誰でも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること」をいいます¹。日本文化政策学会では、研究大会における障害者等への情報提供の方法(情報保障)についても、検討を重ねています。

本研究大会では現時点での参加者(発表者・聴講者／会員・非会員)への情報保障の選択肢として、UDトーク²による対応を想定しております。その他の情報保障についても、必要に応じて、学会の予算上可能な範囲で、対応できればと考えております。

準備のため、情報保障の申請〆切を、通常の参加申込〆切より早めに設定しております。また、予算等の都合上、全会場ではなく、参加者が希望された範囲での情報保障になることをご了承ください。

情報保障申請フォーム(2月16日締切) <https://forms.gle/X72EtSatRHzz2KqG8>

*こちらは情報保障に関する申請フォームです。

大会参加自体のお申込みも、別途大会参加の申込フォーム(p.4)より行っていたいただきますよう、お願いします。

なお、情報保障のために取得した文字おこしテキスト等の情報については、2025年2月末現在、情報保障が必要な当事者への対応を除いた使用予定はございません。もし、今後大会記録の作成や公開等を検討する場合は、改めて関係者の皆様に許諾のご連絡を差し上げます。公開等を行わない場合は、情報保障のために収集されたデータは大会終了後に破棄いたします。

◎情報保障に関する問合せ先

日本文化政策学会第18回年次大会プログラム委員会事務局

朝倉由希、関鎮京

E-mail: jacpr2024hachinohe@gmail.com

¹ 東京都福祉局「障害者への情報提供の方法(情報保障)」

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tokyoheart/jouhou/index.html> (2025年1月閲覧)

² UDトーク: 音声認識と自動翻訳を活用した生活やビジネスの様々なシーンで活用できるアプリ。聴覚障害者への文字情報提供にも使われる。<https://udtalk.jp/about/> (2025年1月閲覧)

プログラム・スケジュール

<全体日程>

日時		内容	場所
3/14(金)	14:00～ 17:30	エクスカーション1 「八戸堪能バスツアー ～是川縄文館・ 蕪島・八食センター～」	八戸市美術館発着
3/15(土)	10:10～ 10:40	エクスカーション2 「八戸市美術館建築ガイドツアー」	八戸市美術館
	10:30～	受付開始	八戸市美術館入口
	11:10～ 13:10	企画フォーラム①～④	美術館GR中央 美術館スタジオ はっちシアター1 はっちシアター2
	14:10～ 14:55	開会式及び表彰式	グランドホテル 2F グランドホール
	15:10～ 16:40	シンポジウムⅠ 「地方自治体の自律的な文化政策の あり方を考えるー直営スタイルの八戸 の実践からー」	
	16:50～ 18:50	シンポジウムⅡ 「地域アーツカウンスル、現状と展望」	
	19:15～ 21:00	懇親会	グランドホテル 3F MIYABI
3/16(日)	6:30～ 8:20	エクスカーション3 「館鼻岸壁朝市バスツアー」	八戸市美術館発着
	8:40～	受付開始	八戸市美術館入口
	9:10～ 11:25	分科会Ⅰ (A・B・D…9:45 開始) (C…9:10 開始)	美術館スタジオ 美術館GR西側 はっちシアター1 はっちシアター2
		企画フォーラム⑤・⑥ (11:10 終了)	美術館GR中央 グランドホテル 2Fトパ ーズ
	11:35～ 12:25	ポスターセッション コアタイム	美術館ギャラリー1
		理事会	グランドホテル 2F ロ ーズコート
	12:30～ 13:10	総会	グランドホテル 2F ト パーズ
	13:25～ 16:20	分科会Ⅱ (A・B…15:45 終了) (C・D…16:20 終了)	美術館スタジオ 美術館GR西側 はっちシアター1 はっちシアター2
		企画フォーラム⑦・⑧ (15:25 終了)	美術館GR中央 グランドホテル 2Fトパ ーズ

※美術館 GR＝美術館ジャイアントルーム
はっち＝八戸ポータルミュージアム はっち

3月15日(土)

企画フォーラム①～④

時 間:11:10-13:10

会 場:美術館 GR 中央、美術館スタジオ、はっちシアター1、はっちシアター2

企画フォーラム① (美術館 GR 中央)	説明能力(account-ability)を高める評価の試みー八戸市美術館、札幌市民交流プラザ、アーツコミッション・ヨコハマの実践 企画代表者:中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院教授) 登壇者:佐藤慎也(八戸市美術館館長/日本大学理工学部教授) 松本桜子(公益財団法人札幌市芸術文化財団市民交流プラザ事業部センター事業課事業係長) 森絵里花(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACY グループ) ファシリテーター:大澤寅雄(合同会社文化コモンズ研究所代表)
企画フォーラム② (美術館スタジオ)	劇場・音楽堂等の専門職の育成カリキュラムと資格制度を考える 企画代表者:藤野一夫(芸術文化観光専門職大学副学長) 登壇者:岸正人(全国公立文化施設協会事務局長兼専務理事) 熊井一記(劇場音楽堂等連絡協議会事務局長/ 神戸市民文化振興財団事業部長) 李知映(芸術文化観光専門職大学専任講師) 近藤のぞみ(芸術文化観光専門職大学専任講師)
企画フォーラム③ (はっちシアター1)	若手研究者によるピアレビュー「実践に基づいた研究の可能性と課題」 ピアレビュー参加者(50音順): 小田口桜子(九州大学大学院芸術工学研究院修士課程2年) 黄夢圓(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程1年) 酒井雅代(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程2年) 篠原美奈(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程2年) 萩原昌子(Sasa-Marie)(九州大学大学院芸術工学府博士後期課程3年) コメンテーター:長津結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院 未来共生デザイン部門准教授) 進行:神道朝子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士課程2年)
企画フォーラム④ (はっちシアター2)	地域の新しい創造活動にむけてーこども食堂におけるアートワークショップが開く文化施策/事業の可能性ー 企画:CASK 登壇者:山内泰(NPO 法人ドネルモ代表) 常盤成紀(公益財団法人堺市文化振興財団事業係長) 柴崎由美子(NPO 法人エイブル・アート・ジャパン事務局長) 端野真佐子(認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ)

昼休み

※関連企画

若手主催交流企画「学会ビギナーズ・ランチミーティング」

初めて学会に参加される方は、なかなか所在なく、交流が難しい現状があると考え、学会ビギナーズでも気兼ねなくベテラン研究者と交流できる機会をつくりたいと考えました。学会ビギナーズや若手研究者、これから研究を始めたい方など歓迎します(非会員も大歓迎)。

日 時:3月15日(土)13時10分～14時10分

場 所:コワーキングカフェ estacion

参加費:1500円/人(お弁当+ワンドリンク)

主 催:Early Career Club ニチニチ荘

ホームページはこちら → <https://wakate.pacr-lab.net/>

問合せ先:cp.oralhistory@gmail.com

詳細は主催者まで直接お問合せ・お申込みください。
(大会事務局・peatix では受け付けません)

開会式及び表彰式

時 間:14:10～14:55

会 場:グランドホテル 2F グランドホール

開会式

開催地市長歓迎挨拶:八戸市長 熊谷雄一

開会挨拶:藤野一夫(日本文化政策学会会長/芸術文化観光専門職大学)

学会賞表彰式

審査員コメント:関鎖京(第3回学会奨励賞審査委員長/北海道教育大学)

賞状授与:藤野一夫(日本文化政策学会会長/芸術文化観光専門職大学)

受賞者スピーチ:小林瑠音(芸術文化観光専門職大学)

シンポジウム（一般公開）

時 間:15:10～18:50

会 場:グランドホテル 2F グランドホール

シンポジウムⅠ（15:10～16:40）

地方自治体の自律的な文化政策のあり方を考える ―直営スタイルの八戸の 実践から―

事 例 提 供: 大澤苑美(八戸市美術館主査兼学芸員／本研究大会実行委員長)

進 行: 熊倉純子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授／本研究大会プログラム委員長)

登 壇 者: 朝倉由希(公立小松大学国際文化交流学部准教授)

大澤寅雄(合同会社文化コモンズ研究所代表・主任研究員)

大澤苑美

野村政之(信州アーツカウンシルゼネラルコーディネーター)

シンポジウムⅡ（16:50～18:50）

地域アーツカウンシル、現状と展望

話題提供者: 太下義之(文化政策研究者、同志社大学経済学部教授)

関鎮京(北海道教育大学岩見沢校芸術文化政策研究室准教授)

進 行: 小林真理(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

登 壇 者: 野村政之(信州アーツカウンシルゼネラルコーディネーター)

林立騎(那覇文化芸術劇場なはーと／沖縄アーツカウンシルアドバイザリーボード)

太下義之

関鎮京

懇親会

時 間:19:15～21:00

会 場:グランドホテル 3F MIYABI

3月16日(日)

分科会 I

時 間:9:10～11:25

(I-A、I-B、I-D 9:45～11:25

I-C 9:10～11:25)

会 場:美術館スタジオ、美術館 GR 西側、はっちシアター1、はっちシアター2

分科会 I-A (美術館スタジオ) (9:45 開始)	<u>文化政策とデモクラシー</u> 座長:中村美帆(青山学院大学) 副座長:武田康孝(国際交流基金) 1.戦後直後の文化行政機構構想の展開と頓挫 ―文化局・文化院・文化省― 太田由紀(東京大学大学院文化資源学研究専攻博士課程学生) 2.文化振興とアドボカシー ―浅利慶太・三善晃による論争からの検討― 田中淳士(京都大学大学院博士後期課程3年) 3.「ドクメンタ 15」と「あいちトリエンナーレ 2019」の比較 ―展示中止にまつわる騒動を巡って 吉田隆之(大阪公立大学准教授)
分科会 I-B (美術館 GR 西側) (9:45 開始)	<u>パフォーミングアーツと市民</u> 座長:川村陶子(成蹊大学) 副座長:李知映(芸術文化観光専門職大学) 1.Staging Strange Encounters: Performance-Devising Methodologies with Strangers ―The Case of MUGAI's The World DAGONDON Dan Albert Alforque(Tokyo University of the Arts, Graduate School of Global Arts) 2.企業の民俗芸能参与の意義 ―さんさ踊りを事例に― 中村まい(お茶の水女子大学基幹研究院リサーチフェロー) 3.ストリートパフォーマンスによる市民主体のまちづくりの試み ―静岡市における「まちは劇場」事業を中心に 王曼黎(東京藝術大学国際芸術創造研究科博士後期課程 1 年)

分科会 I -C (はっちシアター1) (9:10 開始)	<u>アートプロジェクト・共創</u> 座長:大澤寅雄(合同会社文化コモンズ研究所) 副座長:長津結一郎(九州大学) 1.「コミュニティ・スペシフィック」概念によるアートプロジェクト発展過程分析の試み:1990 年代の藤浩志・きむらとしろうじんじんの活動に着目して 松山雄大(上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士課程 2 年) 2.アートプロジェクトのボランティア・サポーターの主体性とアーティストとの関わり 大巻伸嗣《Memorial Rebirth 千住》を事例として 藤枝怜(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程 5 年) 3.ダンス実践を通じたコミュニティの意識の変容 ―札幌市におけるコミュニティダンス事業の聞き取り調査を通じて― 堀内まゆみ(北海道大学教育学院博士後期課程 3 年) 4.クラシック音楽家と共につくるアートプロジェクトの可能性「あちらこちら」に関わる音楽家への半構造化インタビューを通して 篠原美奈(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士課程 2 年)
分科会 I -D (はっちシアター2) (9:45開始)	<u>文化資源・文化観光</u> 座長:井上敏(桃山学院大学) 副座長:小島立(九州大学) 1.文化観光政策におけるメディエーターの役割 土屋正臣(城西大学) 2.「がっかり観光地」にみる文化資源の観光資源化 ―札幌市・時計台と高知市・はりまや橋を事例として― 西村若奈(東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士2年) 3.阿寒湖アイヌコタンの現代的舞台芸術の系譜:「ユーカラ座」から「ロストカムイ」まで 谷地田未緒(国立アイヌ民族博物館研究員／大阪公立大学客員研究員)

企画フォーラム⑤・⑥

時 間:9:10～11:10

会 場:美術館 GR 中央、グランドホテル 2F トパーズ

企画フォーラム⑤ (美術館 GR 中央)	都市計画行政と文化行政の垣根を越えて ～コンパクトシティ政策のその先へ～ 企画代表者:岡田潤(東京大学大学院新領域創成科学研究科特別研究員) 登壇者:岡田潤 前田晃(八戸市市民環境部長) 小林真理(東京大学大学院人文社会系研究科教授) 松本隼樹(石川県職員東京大学大学院人文社会系研究科博士課程) 杉崎栄介(横浜市芸術文化振興財団) 山下裕子(全国まちなか広場研究会) 飯石藍、松田東子(公共R不動産)
企画フォーラム⑥ (グランドホテル 2F トパーズ)	文化政策の道のりと原理と再定義:“脱制度化のアートマネジメント”から考える 企画代表者:佐藤李青(地域と文化と制度の研究会) 共同企画者:小川智紀・田中真実(ST スポット横浜)、戸舘正史(元松山ブンカ・ラボ)、上地里佳(沖縄アーツカウンシル) 登壇者:佐藤李青 小川智紀 田中真実 戸舘正史 上地里佳 伊藤裕夫(文化政策研究者)

ポスターセッション

時 間:11:35～12:25 コアタイム

会 場:美術館ギャラリー1

理事会

時 間:11:35～12:25

会 場:グランドホテル 2F ローズコート

総会

時 間:12:30～13:10

会 場:グランドホテル 2F トパーズ

分科会Ⅱ

時 間:13:25～16:20

(Ⅱ-A、Ⅱ-B…13:25～15:45

Ⅱ-C、Ⅱ-D…13:25～16:20)

会 場:美術館スタジオ、美術館GR西側、はっちシアター1、はっちシアター2

分科会Ⅱ-A (美術館スタジオ) (15:45 終了)	文化政策と評価 座長:友岡邦之(高崎経済大学) 副座長:中村美亜(九州大学) 1.文化政策研究における方法論としてのエスノグラフィの可能性 石橋鼓太郎(東京藝術大学非常勤講師) 2.文化芸術マスタープランに基づく劇場運営の検証 ——長久手市文化の家 における 25 年の実践から 山本宗由(長久手市生涯学習課)、生田創(長久手市生涯学習課長兼長久手 市文化の家館長) 3.評価は役立てられているか? —文化政策の評価を巡る課題 岩瀬 智久(静岡県庁/袋井土木事務所) 4.若手クリエイター発掘の長期効果:大正期の小説家アンケート調査を用い た再解析の試み 笠井康平(東京大学人文社会系研究科文化資源学研究室修士 2 年)
分科会Ⅱ-B (美術館 GR 西側) (15:45 終了)	音楽と社会 座長:藤野一夫(芸術文化観光専門職大学) 副座長:佐藤良子(静岡文化芸術大学) 1.国際音楽コンクールにみる開催地域とのつながり —海外事例研究からの 示唆— 松本茂章(文化と地域デザイン研究所代表/大阪音楽大学特任教授/前・静岡文化 芸術大学教授) 高島知佐子(静岡文化芸術大学文化政策学部) 2.占領期の文化施設におけるアマチュアの音楽活動と復帰後の公立文化施 設との関係 —琉米文化会館を中心に— 丹羽梓(独立研究者) 3.オーケストラの楽員および職員のジェンダー・ギャップとワーク・ライフ・バ ランスに関する研究 伊志嶺絵里子(東京藝術大学ほか非常勤講師) 佐野直哉(東京藝術大学特任講師) 赤木舞(武蔵野音楽大学准教授) 4.総合計画に現れる「音楽」に関する記述の変遷 —川崎市・浜松市を事例に 肥後楽(大阪大学社会技術共創研究センター特任助教)

分科会Ⅱ-C (はっちシアター1) (16:20終了)	<u>アートと社会包摂</u> 座長:古賀弥生(芸術文化観光専門職大学) 副座長:鬼木和浩(横浜市役所) 1.認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツの「表現未満、」プロジェクトの活動経緯に関する一考察 和久井碧(立教大学大学院社会デザイン研究科博士後期課程 2 年) 2.子どもを取り巻く課題にアプローチするアートプロジェクトのアクションリサーチ -アーティストと福祉専門スタッフの連携・協働に関する検討- 酒井雅代(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士課程 2 年) 3.医療的ケア児と共に変えていく世界 地域医療とアーティストの協働で支えていく地方の劇場文化 唐川恵美子(医療法人社団オレンジ ほっちのロッヂ・文化環境設計士) 4.創造的な交流の場 ～認知症高齢者ケアとアートが織りなす地域連帯の可能性～ 大村直子(東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻先端芸術表現研究領域博士後期課程 3 年) 5.地域における芸術実践が精神疾患/障害に対するスティグマを軽減する可能性《「この病気にならないと理解できないと思います。どうせ、他人事でございましょう」展》を事例として 榎原彩(成蹊大学文学部芸術文化行政コース客員准教授)
分科会Ⅱ-D (はっちシアター2) (16:20終了)	<u>文化施設・教育施設</u> 座長:吉本光宏(合同会社文化commons研究所) 副座長:井原麗奈(芸術文化観光専門職大学) 1.日本の劇場における芸術監督の役割:平成の公立劇場を中心に 横堀応彦(跡見学園女子大学マネジメント学部准教授) 2.アートの拒絶から見える無印都市のもう一つの輪郭―“新横浜美術館”を事例に 黄夢圓(東京藝術大学 国際芸術創造研究科熊倉研究室博士 1 年) 3.地域の文化拠点としての映画館 ― ノルウェーの映画館ネットワーク(KinoAlliansen)についての調査研究 ― 石垣尚志(東海大学文化社会学部准教授) 4.公立図書館の移管に関する一考察 岩井千華(國學院大學栃木短期大学) 5.2001 年以降の民間企業による美術館支援 溝上心太(東京大学人文社会系研究科文化資源学研究専攻文化経営学専門分野修士課程 2 年)

企画フォーラム⑦・⑧

時 間:13:25～15:25

会 場:美術館 GR 中央、グランドホテル 2F トパーズ

企画フォーラム⑦ (美術館 GR 中央)	芸術実践を「翻訳」できるのか:アートベース・リサーチを手掛かりに 企画:「アート／ケア／文化政策」研究会 大蔵真由美(松本大学) 風間勇助(奈良県立大学) 齋藤梨津子(早稲田大学大学院) 竹丸草子(アーツカウンシル東京) 南田明美(静岡文化芸術大学) ゲスト講師:川島裕子(関西大学総合情報学部准教授)
企画フォーラム⑧ (グランドホテル 2F トパーズ)	国レベルの文化政策と地方創生 企画代表者:作田知樹(Arts and Law 事務局・ファウンダー) 共同企画者:秋野有紀(早稲田大学教育・総合科学学術院教授) 朝倉由希(公立小松大学国際文化交流学部准教授) 菅野幸子(AIR Lab アーツ・プランナー／リサーチャー) 長嶋由紀子(東京大学大学院人文社会系研究科研究員) 関鎖京(北海道教育大学岩見沢校芸術文化研究室准教授) 登壇者:企画者(諸外国文化政策の国際比較研究グループメンバー) ゲストを予定

発表者へのお願い

1. 事前準備について

- (1) 大会参加費および会費を未納の場合は、発表資格が取り消されます。本年度及び過年度の年会費をまだ支払っていない方は、個別にご依頼した期日までに必ずお支払いいただけますようお願いいたします。年会費および学生会員に関することは、学会 HP をご参照の上、学会事務局に直接お問い合わせください。
日本文化政策学会ホームページ：<http://www.jacpr.jp>
- (2) 分科会によっては、座長・副座長から予稿集に掲載のメールアドレスに事前連絡がありますのでご留意ください（すべての分科会で事前連絡があるとは限りません）。
- (3) 大会全体のプログラムに影響しますので、各プログラムの開始・終了におきましては、時間厳守での運営にご協力をお願いいたします。

2. 当日の機材・配付資料等について

2-1. 研究発表及び企画フォーラム

- (1) 会場でのコピーサービスには対応できません。資料配布を希望される方は、事前に 30 部以上のレジユメの準備をお願いいたします。
※ 各プログラムの参加者数について、実行委員会では把握しかねますので、ご了承ください。
- (2) 報告者は、プログラム開始 10 分前に会場にお集まりください。分科会では、座長・副座長・報告者による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。
- (3) 3 月 16 日（日）朝の各会場の入館時間と入口については、以下のとおりです。
 - ・八戸ポータルミュージアムはっち：8:50 以降入館可（通常入口は 9:00 から使用可）
タイムズ八戸三日町パーキング側・警備員のいる入口から、名札を見せて入館。
 - ・八戸市美術館 8:40 以降入館可能。
八戸酒類八鶴工場向かい南エントランスから入館。
 - ・八戸グランドホテル 8:40 以降入館可能。通常通り、正面入口から入館。
- (4) プロジェクターの使用を希望される方は特に次の点にご注意ください。
 - ① 各会場にパソコンの用意はありません。持参をお願いします。どうしても困る場合は八戸市美術館メール宛にご相談ください。art@city.hachinohe.aomori.jp
 - ② 会場には、HDMI ケーブル、備え付けプロジェクター、マイク（会場により 2～5 本）が用意されています。それ以外の機材を使用する場合は、各自でご用意ください。Mac ユーザーの方は、HDMI 接続用のコネクタ等を、必ずご自身で持参ください。
 - ③ 報告者は、プログラム開始 10 分前までに会場にお集まりいただき、各自、接続チェックをお願いします。
 - ④ 会場では機材の動作確認等含め、できるかぎり報告者への協力をいたしますが、機材操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。万が一、機材が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。
 - ⑤ 各会場無料 Wifi が利用できます。会場内と発表テーブル付近に、アカウントとパスワードを表示します。（八戸グランドホテルは発表者のみ利用可）

2-2. ポスターセッション（八戸市美術館ギャラリー1）

- ① ポスターは A1 サイズで印刷・持参をお願いします。3 月 15 日（土）10:30～13:00 の間に、八戸市美術館の学会受付に申し出の後、ご自身で貼る作業をお願いします（画鋏の用意あり）。掲示場所は、実行委員会の指示に従ってください。1 m離れても判読できる程度の文字の大きさにご留意ください。
- ② コアタイム（3 月 16 日（日）11:35～12:25）は、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい。
- ③ 音の出る発表資料は不可となります。
- ④ ポスターは、原則、学会終了後、実行委員会で破棄としますが、持ち帰りたい方は、3 月 16 日（日）16:30～17:00 の間に八戸市美術館ギャラリー 1 にて撤収作業をご自身でお願いします。

物販

- (1) 本大会では原則、書籍等の物販は取扱いいたしません。
- (2) 文化政策研究上、貴重な文献・資料であり、かつ書店やアマゾンなどの流通に乗らないものの場合に限り頒布していただけます。
- (3) 頒布を希望する場合は、1 週間前までに、八戸市美術館 art@city.hachinohe.aomori.jp へご連絡ください。なお、事前送付は受け付けません。また、頒布に関する実務は実行委員会では行いません。
- (4) チラシ・資料類を並べる机を、八戸市美術館内に設置します。
- (5) チラシ・資料類の設置を希望される方は、3 月 10 日（月）～14 日（金）の期間に、八戸市美術館に送付（〒031-0031 八戸市大字番町 10-4 大澤宛、文化政策学会配架チラシ、と記載）、または当日、受付にご持参ください。
部数は、30～50 部を目安としてください。学会終了後、実行委員会で破棄します（持ち帰りたい方は、学会終了時刻までに取りに来てください）。

懇親会

- (1) 懇親会は予約制となります。事前申込をお願いします。
(準備の都合上、可能な限り、下記締切日までの申込みにご協力をお願いします)
- (2) 懇親会会場：八戸グランドホテル 3F MIYABI
- (3) 申込方法：大会参加申込とあわせて peatix からお申込みください。
 - ・申込締切：3月3日(月) 18:00(厳守)
 - 申込フォーム(<https://peatix.com/event/4257635>)
- (4) 参加費 (会員・非会員同額)
 - ・一般：6000 円
 - ・社会人学生(学業とは別にフルタイムの職業に就く者)：4000 円
 - ・その他学生：2500 円

※当日申込の場合金額は以下となります。

- ・一般・社会人学生：6000 円
- ・その他学生：3000 円

昼食・貸スペース

- (1) 昼食について
 - ・昼食は各自でご用意ください。
 - ・中心街のランチのお店情報は下の QR コードをご参照ください。※Google マイマップです。PC からが見やすいです。
個人で作成しております、SNS でのシェアはご遠慮ください。

八戸ランチマップ



- (2) 学会会場内の飲食店情報
 - ・はっち館内には、うどん、ラーメン、カレー、パスタなどが食べられる飲食店が 1F～3F にあります。
 - ・八戸グランドホテル 10F・スカイダイニングソレイユで、ランチ営業あります。1F ラウンジでは、500 円でフリードリンク＆ラウンジ利用サービス実施予定です。
 - ・八戸市美術館の学会会場(ジャイアントルーム、スタジオ)は空き時間に昼食をとっていただけますが、展示室(ホワイトキューブ、ギャラリー、コレクションラボ)への飲食の持込はおやめください。
- (3) 貸会議室やテレワーク情報(民間スペース)
 - ・貸会議室やテレワークの場所をお探しの方は、美術館向かいにスペースがあります。詳細・申込みは、WEB サイトをご確認ください。
 - コワーキングスペース・カフェ「estacion」(日曜休、ドロップイン制度あり)
 - 八戸工業大学×田名部組・番町サテライトキャンパス「ばんらぼ」(要事前申込)

宿泊・交通・天候

- (1) 宿泊、列車・飛行機チケット等の斡旋は行っておりません。お早めの予約をお願いいたします。
- (2) 宿泊について
 - ・ ホテルの場所は、「アクセス」のページの地図もご参照ください。
※3月16日（日）朝のエクスカッション「館鼻岸壁朝市ツアー」にご参加の方は、ホテルの朝食をつけずに、ぜひ、朝市で朝食をお楽しみください。
 - ・ 学会会場は、八戸市中心街で、最寄り駅は JR 八戸線「本八戸駅」です。東北新幹線の「八戸駅」とは異なります。予約する際にお間違いのないようにしてください。
- (3) 交通 ―新幹線、JR 八戸線、路線バス― について
 - ・ 新幹線でお越しの方へ、JR 八戸線の注意点
JR 八戸線（東北新幹線の「八戸駅」から、中心街最寄り「本八戸」駅のローカル線）は、Suica など交通 IC カードが使えません。本数も 1 時間に 1 本です。新幹線との接続がない時間帯もあります。
その場合は、八戸駅東口バスターミナル 1 番から発車する路線バスでお越しください。（下記参照）
 - ・ 22 時以降八戸駅着の新幹線でお越しの方へ
22 時以降、JR 八戸線の運行は終了しています。22 時台到着の方は路線バス（22:20 最終バス）にご乗車ください。23 時台の最終新幹線で到着する方は、タクシーで中心街までお越しになるか、八戸駅周辺に宿泊して翌朝ご移動ください。
 - ・ 路線バス | 八戸駅からの中心街への路線バスについて（南部バス、市営バス）
日中は約 15 分に 1 本間隔で走っています。八戸駅東口バスターミナル 1 番乗り場から発車するバスに乗り、「中心街ターミナル十三日町」（はっち最寄り）か「中心街ターミナル八日町」（美術館、グランドホテル最寄り）で下車してください。
所要時間 25 分程度。370 円（交通系 IC カード利用可）。
 - ・ 路線バス | 中心街から八戸駅への路線バスについて（南部バス、市営バス）
日中は約 15 分に 1 本間隔で走っています。乗車バス停は、八戸ブックセンター向かい、パチンコ屋コンサートホールの前「中心街ターミナル 六日町」から「八戸駅行き」にご乗車ください。
所要時間 25 分程度。370 円（交通系 IC カード利用可）。
- (4) 天候と飛行機について
 - ・ 八戸では、3 月に降る雪を「彼岸じゃらく」と呼び、まだ雪が降る季節です。八戸は積雪は多くないですが、氷点下以下になると、道路が凍ります。滑らない靴（靴裏に刻みがあるような靴）でお越しください。
 - ・ 他地域よりは雪に強いですが、三沢空港、青森空港とも、天候による欠航が発生する場合がありますので、天気予報にはご注意ください。

アクセス

- *八戸市美術館（学会受付・運営本部）……〒031-0031 八戸市番町10-4
- *八戸ポータルミュージアム はっち……〒031-0032 八戸市三日町11-1
- *八戸グランドホテル……〒031-0031 八戸市番町14

JR八戸線本八戸駅から徒歩10分

三沢空港からシャトルバス：八戸八日町下車 徒歩3分

（JR八戸駅から）南部バスor市バス：中心街ターミナル八日町下車 徒歩3分



会場平面図 ＊八戸市美術館＊

3/15（土）受付、企画フォーラム、ポスターセッション

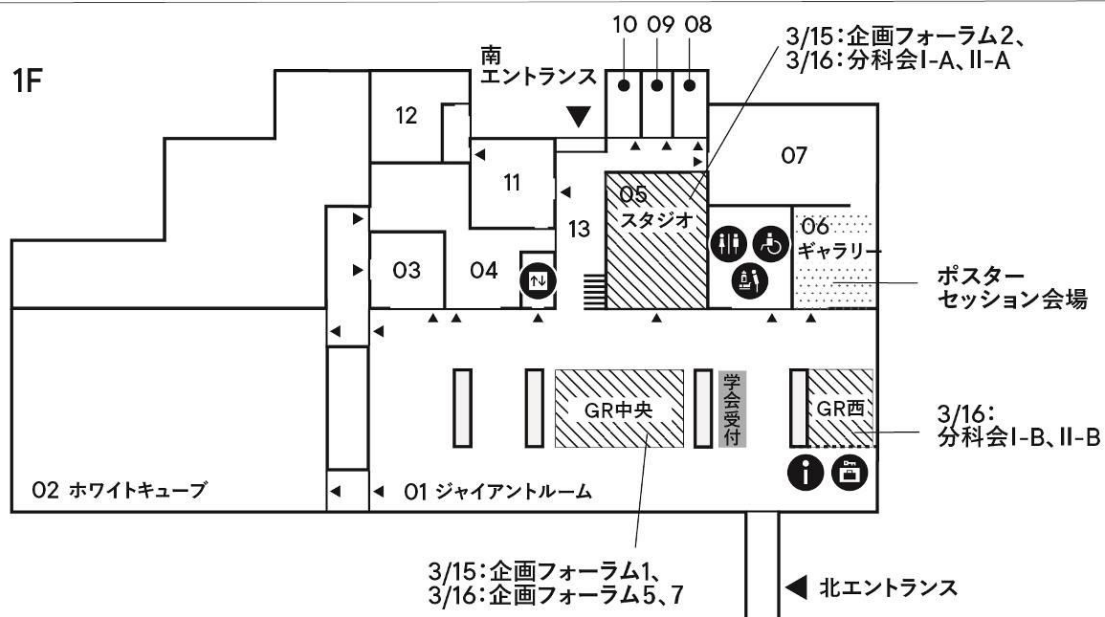
3/16（日）受付、企画フォーラム、分科会、ポスターセッション



八戸酒類八鶴工場

←八戸グランドホテル

八戸ポータルミュージアムはっち方面→



01 ジャイアントルーム

02 ホワイトキューブ

03 ブラックキューブ

04 コレクションラボ

05 スタジオ

06 ギャラリー1

07 ギャラリー2

08 会議室 1

09 会議室 2

10 会議室 3

11 ワークショップルーム

12 アトリエ

13 ティールーム



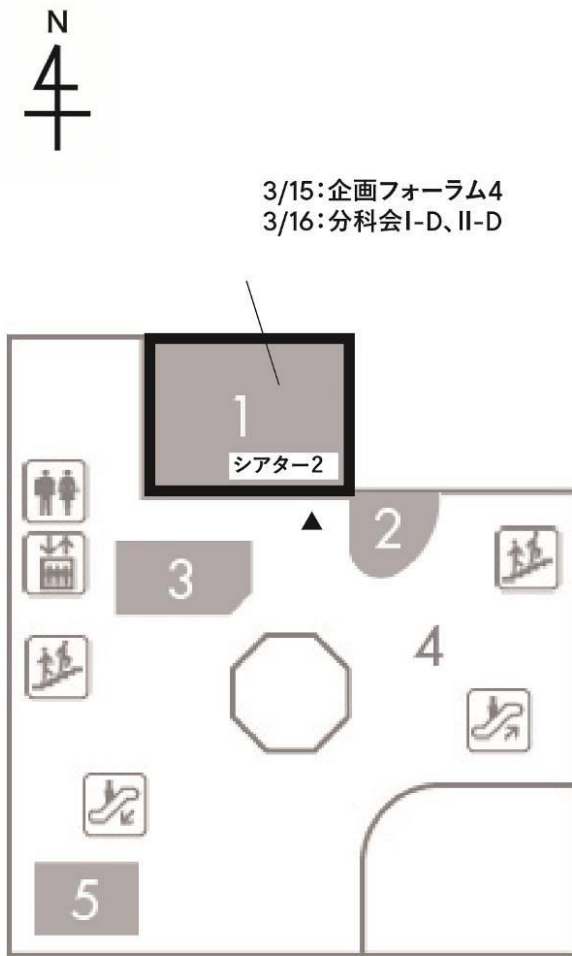
八戸市美術館
Hachinohe Art Museum



会場平面図 *八戸ポータルミュージアム はっち*

3/15（土）企画フォーラム

3/16（日）企画フォーラム、分科会



- 2F**
- 1：シアター 2
 - 2：地酒カフェはちのへ
 - 3：ギャラリー 2
 - 4：観光展示
 - 5：CHEESE DAY

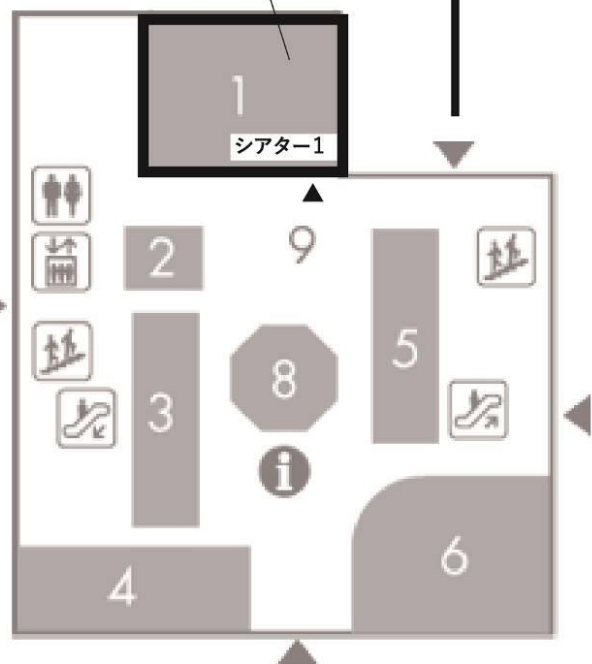
3F 観光展示、ギャラリー 3、和のスタジオ、音のスタジオほか
飲食店：たまに庵、very berry+

4F こどもはっち、伝統工芸体験ブース、ものづくりスタジオ、食のスタジオ、リビング、事務室ほか

5F レジデンス、共同スタジオ、共同キッチン、ワークステーションほか

八戸市美術館
八戸グランドホテル方面への移動は、裏の駐車場側出口からが早いです。

3/15:企画フォーラム3
3/16:分科会I-C、II-C



- 1F**
- 1：シアター 1
 - 2：放送スタジオ
 - 3：カネイリミュージアムショップ
 - 4：Cafe & Bar Roast
 - 5：ギャラリー 1
 - 6：はっちひろば
 - 8：はっちコート
 - 9：観光展示

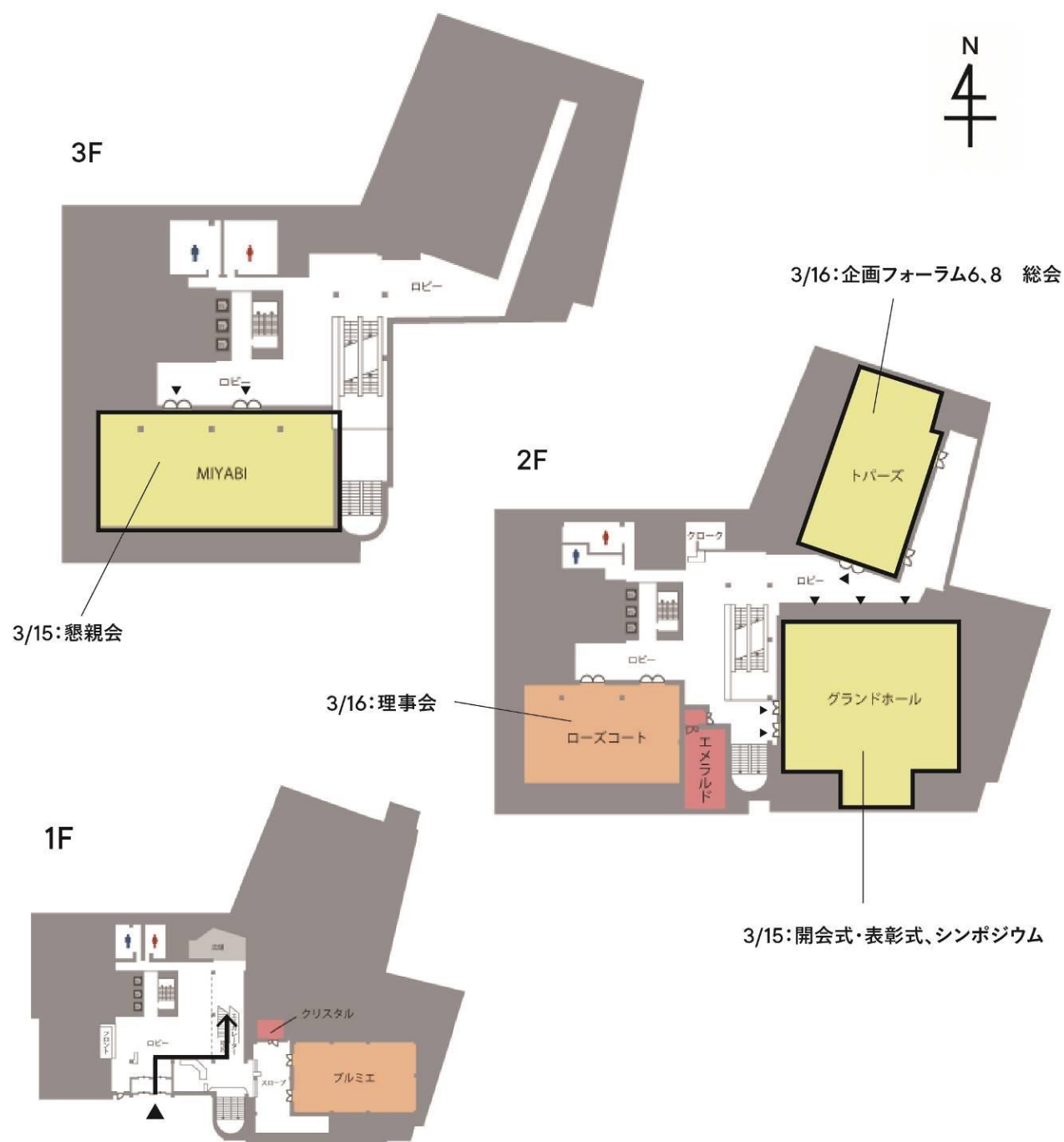
hacchi



会場平面図 ＊八戸グランドホテル＊

3/15（土）開会式・表彰式、シンポジウム、懇親会

3/16（日）総会、企画フォーラム、理事会



← 八戸ポータルミュージアムはっち、
八戸市美術館

HACHINOHE GRAND HOTEL
八戸グランドホテル



会場・近隣文化施設 展示のご案内

▼八戸市美術館

2021 年 11 年にリニューアルし、「出会いと学びのアートファーム 100 年後の八戸を創造する」をコンセプトに開館。展示室と同等の広さをもつ「ジャイアントルーム」が象徴するように、作品など「もの」の展示だけでなく、プロジェクトや活動などの「こと」にも対応する美術館として設計されています。

3 月 15 日（土）10:10～10:40 には、アートファーマー（美術館にかかわる市民）による建築ガイドツアーも開催しますので、ぜひご参加ください。

*開催中の展覧会

八戸アーティストファイル 2025 Finding Our Beauty

八戸地域にゆかりあるアーティスト（作家／クリエイター）を紹介する展覧会。

地域の文化関係者と美術館が「プレゼンター（推薦者）」となって「今、紹介したいアーティスト」8 人を選出して展示するものです。八戸ゆかりのアーティストたちから、「今の八戸のアートシーン」をつかみ、私たちのまちの創造性を見出します。

アーティスト |

石橋貴美子、加藤千晶、佐々木遊、庭田薫、
三村紗瑛子、山本耕一郎、YAM、米内安芸

プレゼンター（アーティスト選出者） |

小倉学（八戸クリニック街かどミュージアム館長）、東方悠平（アーティスト／八戸工業大学准教授）、松浦大輔（デーリー東北新聞社編集局報道部長兼クロスメディアコーディネーター）、松田和幸（八戸彩画堂社長）、吉川拓志（ソールブランチ新丁）、吉田章恵（帆風美術館館長）、大澤苑美（八戸市美術館学芸員）

会場 | 八戸市美術館 ホワイトキューブ

開館時間 | 10:00～19:00（最終入館 18:30） 入場料 | 一般：500 円 学生：400 円



コレクションラボ 010 西野こよ 表現への挑戦

八戸市美術館の令和 6 年度新規収蔵作品である西野こよ（1931～2019）の作品を展示します。西野は、南部菱刺しの復興と普及に努め、制作する一方で、美術作品も多数制作しました。刺し子の技法を応用した、工芸的でありながら独創性のある作品をお楽しみください。



西野こよ《奥入瀬の流れ》2004 年

会場 | 八戸市美術館 コレクションラボ

開館時間 | 10:00～19:00 入場料 | 無料

▼八戸ブックセンター

八戸ブックセンターは、「本のまち八戸」を推進する、“市営の本屋”です。

スタッフによる館内の案内も行っております。ギャラリー一展とあわせて、ぜひお立ち寄りください。



ギャラリー展

はしもとみお巡回展 いきもたちの物語 2024-2025

動物の木彫りの彫刻家・はしもとみおの巡回展（絵本原画展）を、八戸ブックセンターで開催します。

絵本『トゲトゲ』（KISSA BOOKS）、『おもいででいっぱいになったら』（マイクロマガジン社）、『ともだちのなまえ』（教育画劇）の原画、『はじめての木彫りどうぶつ手習い帖』（雷鳥社）の見本彫刻を展示いたします。

開館時間 | 10:00 ~ 20:00（日曜日・祝日は 10:00 ~ 19:00）

入場料 | 無料



▼八戸ポータルミュージアム はっち

2011 年 2 月、新たな交流と創造の拠点として、にぎわいの創出や、観光と地域文化の振興を図りながら、中心市街地と八戸市全体の活性化を目的に開館した複合文化施設です。

観光展示やものづくりスタジオ、食のスタジオなど、八戸というまちを知って楽しむことができる展示やショップ、飲食店が館内各所にあります。

はっちボランティアガイドさんに出会ったら、八戸のことをいろいろ教えてください。



エクスカーショーン・プログラム

本大会のエクスカーショーン・プログラムは、以下3つを実施します。

※エクスカーショーンの参加費の一部は学生の懇親会費の補填に使用します。ご了承ください。

1、八戸堪能バスツアー ～是川縄文館・蕪島・八食センター～

3月14日（金）14:00-17:30 定員 20名（先着順）

参加費：1000円（一般・学生／会員・非会員） 発着：八戸市美術館（搬入口P）

2021年世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の1つである「是川石器時代遺跡」の貴重な出土品を収蔵展示する「是川縄文館」と、ウミネコの繁殖地として国の天然記念物にしていされている「蕪島」、青森県南地方の物産やお土産物がそろった巨大市場「八食センター」を巡ります。



是川縄文館



蕪島



八食センター

2、八戸市美術館建築ガイドツアー

3月15日（土）10:10-10:40 定員 20名（先着順） 無料



本大会のメイン会場「八戸市美術館」は、2021年に開館した新しい美術館です。「アートファーマー」と呼ばれる市民スタッフが「建築ツアーガイド」として、八戸市美術館の建物の魅力や特徴を各々独自の切り口で案内する、美術館の人気コンテンツです。

3、館鼻岸壁朝市バスツアー

3月16日（日）6:30-8:20 定員 50 名（先着順）

参加費：1,000 円（一般・学生／会員・非会員） 発着：八戸市美術館（搬入口 P）

館鼻漁港を会場に、全長 800m に渡って 300 以上の店舗がひしめく「国内最大規模の朝市」。魚、野菜、お惣菜、鍋、幼虫グミ、コーヒー、焼き魚、から揚げ、クロワッサン、洋服、鳥かご、サッカーチームの PR に、アイドルのライブ... 八戸の文化政策がなぜこうなっているのか、朝市をみれば一目瞭然で理解できます。



当日は、2025 年の最初の開催日であり、盛り上がること間違いなし！です。ホテルの朝食ではなく、朝市で、朝ごはんを食べましょう！早起きは苦手だからとあきらめると後悔します。

防寒対策はお忘れなく。
（ダウン、手袋、帽子、マフラー）

▼申込方法▼

2月1日（土）10:00 より受付開始、先着順受付、定員になり次第締切。

お申込みは、八戸市美術館のメールまで。art@city.hachinohe.aomori.jp

件名：「エクスカーションプログラムの番号：エクスカーション申込」

例） 1 + 3：エクスカーション申込

本文：参加者のお名前（複数人の場合は、全員）、ご所属、携帯電話番号、会員・非会員、参加希望のエクスカーション名。

※申込後、3 日以内に八戸市美術館より返信がない場合は、お電話ください。

八戸市美術館 代表電話 0178-45-8338(10:00～19:00 火曜日をのぞく)

※キャンセルの場合は必ずメールでご連絡ください。

3/11(火)以降にキャンセルの場合は、お支払いをお願いする場合があります。

※バスツアーの参加費は、当日、乗車時「現金」で徴収します。

お釣りのないようご注意ください。

※エクスカーションの際、貴重品以外の大きなお荷物は、八戸市美術館内でお預かりできます。